平成 28 年度第３回金沢市景観審議会

日時：平成 29 年１月 30 日（月）午後１時 30 分～
会場：金沢市庁舎７階　第３委員会室
出席委員：森会長、川﨑委員、川村委員、小林忠雄委員、小林史彦委員、
関戸委員、玉田委員、土田委員、中村委員、 西野委員、能木場委員、
福岡委員、増田委員、富山委員、二塚委員（代理：駒田委員）
欠席委員：宇佐美委員、坂本委員、鍔委員、馬場先委員、福光委員
事 務 局：都市整備局　　野口局長
景観政策課　　本吉課長、辰巳補佐、中谷係長、寺井主査、
正田主査、井ノ山技師
総務局　　相川局長、鹿間課長

１　開会
２　都市整備局長あいさつ
３　議事

報告案件
（１）第二庁舎の建設計画にかかる前回の審議会以降の経緯について
（２）第二庁舎の建物本体について（前回の審議会で了承済）
（３）再度説明が求められていた上空連絡通路について
（４）（参考）見直し後の第二庁舎の方向性について

（会長）
庁舎本体は、前回、基本的に了解を頂いていており、規模、面積、外観等は変わらないということである。上空通路について、疑問があり延期したが、今回提示の計画では上空通路が無くなり、景観的な問題が無くなったと思われる。
ただいまの報告のあった内容について、質問や意見があればお願いしたい。

（Ａ委員）
今回、結論が早くて大変驚いた。ゆっくり考えた方が良いのではないかと考えていた。資料では、建物の裏側や周辺部分はどのようになるのか分からない。植栽を増やすことなど考えているのか、外構部分が不明である。緑地があることは大切である。

（会長）

今後、建物部会で、詳細な審議を行っていくことになるであろう。

（事務局）
方針にあるように豊かな緑と調和した施設にしたいと考えており、今後、実施設計を進めていく中で、回遊性を含め、検討していきたい。

（Ｂ委員）
パースについて、前回、提示された資料と色が違う。今後、建物部会での議論となると考えるがどうなるか教えて欲しい。
空中回廊が無くなったことから、２又は３階部分から、21 世紀美術館側や惣構を俯瞰できるような窓を設ける、椅子を並べるなどを考えてはどうか。

（事務局）
建物の色彩については、今後、建物部会にて審議していただくことになる。あくまで行政庁舎であり、頂いたご意見の対応が、どこまでできるかは難しいところである。行政庁舎として、必要な施設の面積を確保した上で、実施設計を進めていきたい。

（会長）
色彩については、建物部会で審議していきたい。一般的に、他の施設等でも内部についてもパブリックな雰囲気を出してもらうよう依頼しているところであり、本案件についても同様に依頼していくこととなるであろう。

（Ｃ委員）
例えば、パースを見ると知事公舎側など、壮猶館や的場、石垣など位置は変わっているが、当時の面影は残っている。建物の裏手には用水やこまちなみ保存区域の里見町、市庁舎との間に惣構などもある。左手の民家は、昔、武家地であったところであり、景観に配慮した建物となっている。周りは歴史的な雰囲気があるところで、本庁舎はどうあるべきか。建物のランドスケープを含めたデザインは難しいところであり、是非、今後努力していただきたい。

（会長）
参考意見として承るということでよいでしょうか。

（Ｄ委員）
内部の用途に変更があったが、今回、議会が入らないということは建物の規模や開口部など変わっていく恐れはあるが、概ね規模等は変わらない中で調整するという理解でよろしいか。

（事務局）

その通りである。

（Ｅ委員）
上空通路の５億円を取りやめたということであるが、その分の予算はどうなるのか。上空通路を造らなくなったら、その費用はどこに使うのか。第二庁舎の景観を向上させる部分に使うのか。

（事務局）
上空通路の経費を除いて整備を進めたいと考えている。

（Ｆ委員）
危機管理部局が配置されるが、中央管制機能を持った場合、パラボナアンテナやレーダーなどの塔が建つのか。安全安心のまちづくりや危機管理という面で、通信施設、アンテナなどの機能は必要と思われるが景観にも関わることだろう。

（事務局）
危機管理センターの機能については、基本計画を進めているところである。まだ、詳細な計画は詰まっておらず、必要に応じて景観審議会に報告する。

（Ａ委員）
危機管理センターというと通常、市長室の横に無くて良いのか。その辺の機能面で、上空通路の必要性も感じていたが、どのような考えか、もし教えていただければと思う。

（会長）
様々な観点を整理した結果このような計画になったと思われるため、この場（景観審議会）で、その議論をすることは控えたい。

（Ｇ委員）
今回のパースのように、市民に開かれたオープンスペースがあることは重要である。21 世紀美術館やしいのき迎賓館のまわりの広場など芝生広場が連坦するという意味で、意義のある計画である。施設の前にどのような機能を有するか､21 世紀美術館が午後８時頃まで入れるということで､運営面なども考えて、新しい価値を有するものとして検討を進めて欲しい。

（事務局）
市民に開かれたまちなかの活性化に資する庁舎として、実施設計を進めていきたい。庁舎としての機能を十分充足した上で、検討していきたい。

（H委員）
　建物は、できるだけコンパクトであることが景観上、望ましいと考える。

（D委員）
　これから建設する庁舎であり、省エネなど、できる限り環境に配慮したサステイナブルな建築として計画して欲しい。

（Ｉ委員）
　今朝の新聞で、教育委員会が入ることが分かった。児童館が老朽化しているので、上空通路の費用の部分を児童館の整備などの予算に活用していただければと思う。

（会長）
　建物本体については、前回、基本的に了解しているが、規模、面積、外観等は変わらないということである。また、上空通路は、機能面での調整により建設しないこととなったが、景観的には、上空通路は無い方が望ましいということである。今回の報告について、了解ということで良いか。

（全員）
　異議なし。

（会長）
　本日、委員から出た意見は今後の計画に活かして欲しい。保留となっていた案件は、これで了承することとしたい。

以　上